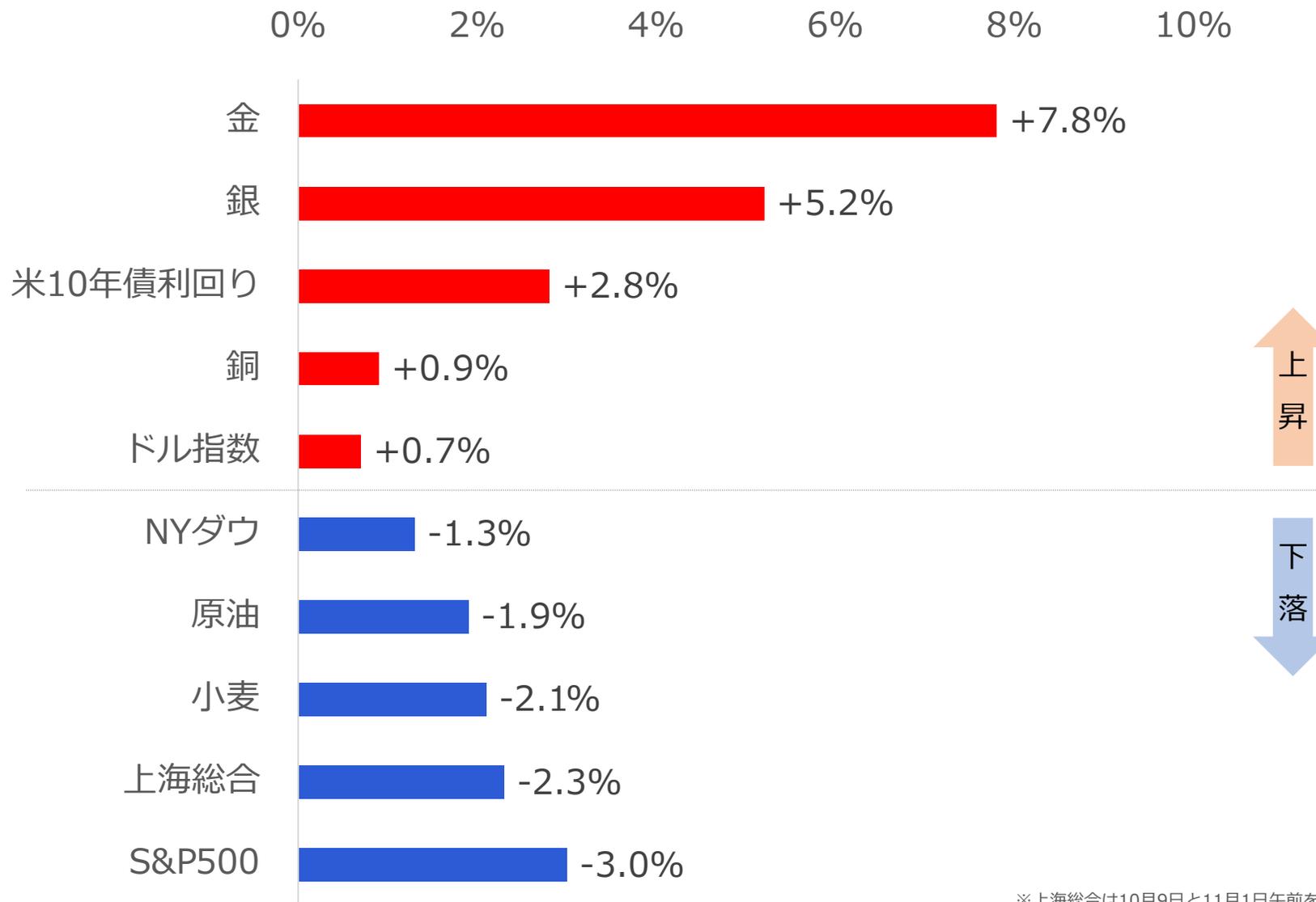


● イスラエル・ガザ戦争勃発後の価格推移（2023年10月6日と11月1日午前を比較）

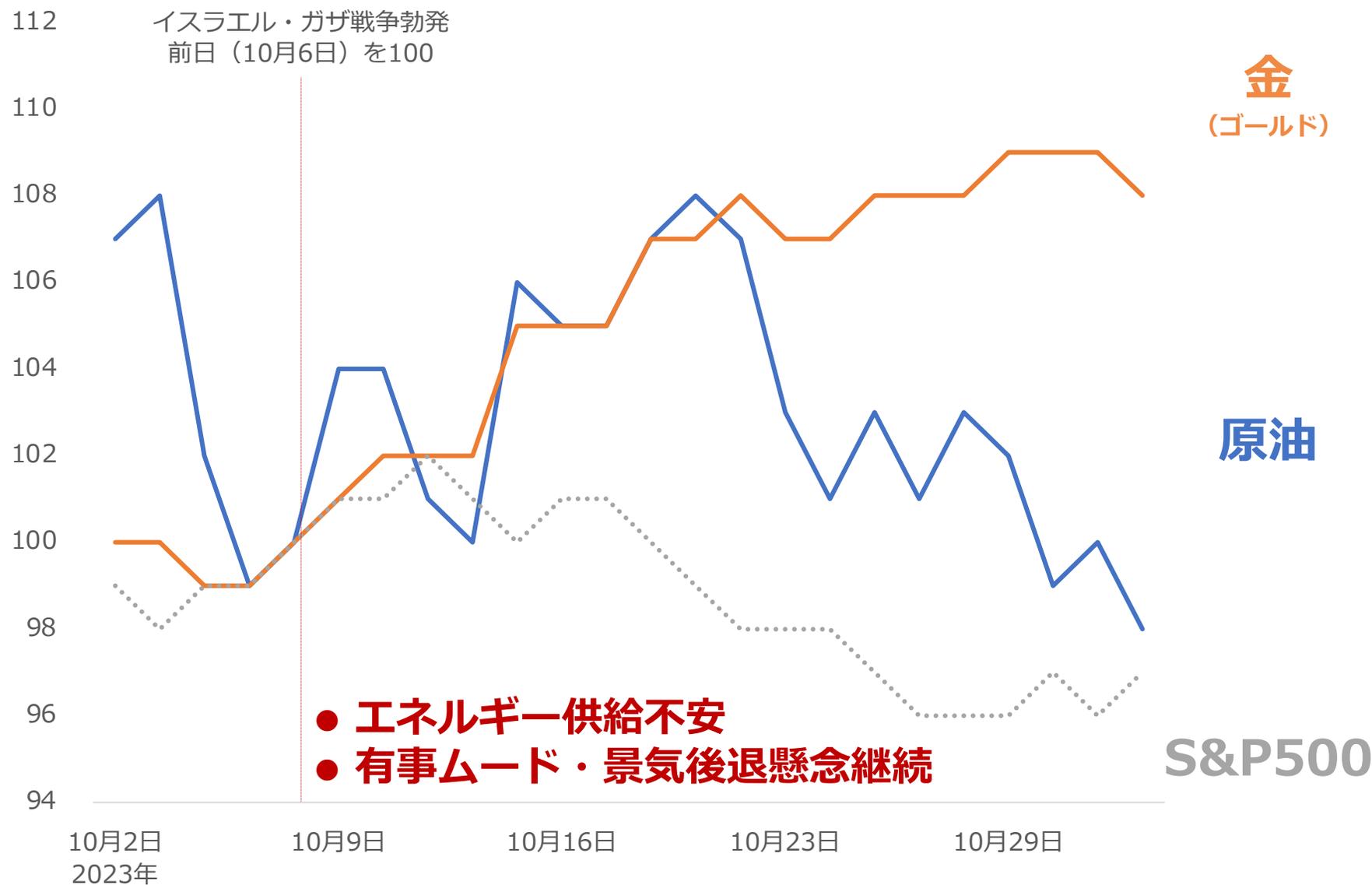


※上海総合は10月9日と11月1日午前を比較

出所：Investing.comのデータをもとに筆者作成

戦争勃発後、上昇：金属・ドル、下落：主要株価指数・エネルギー。

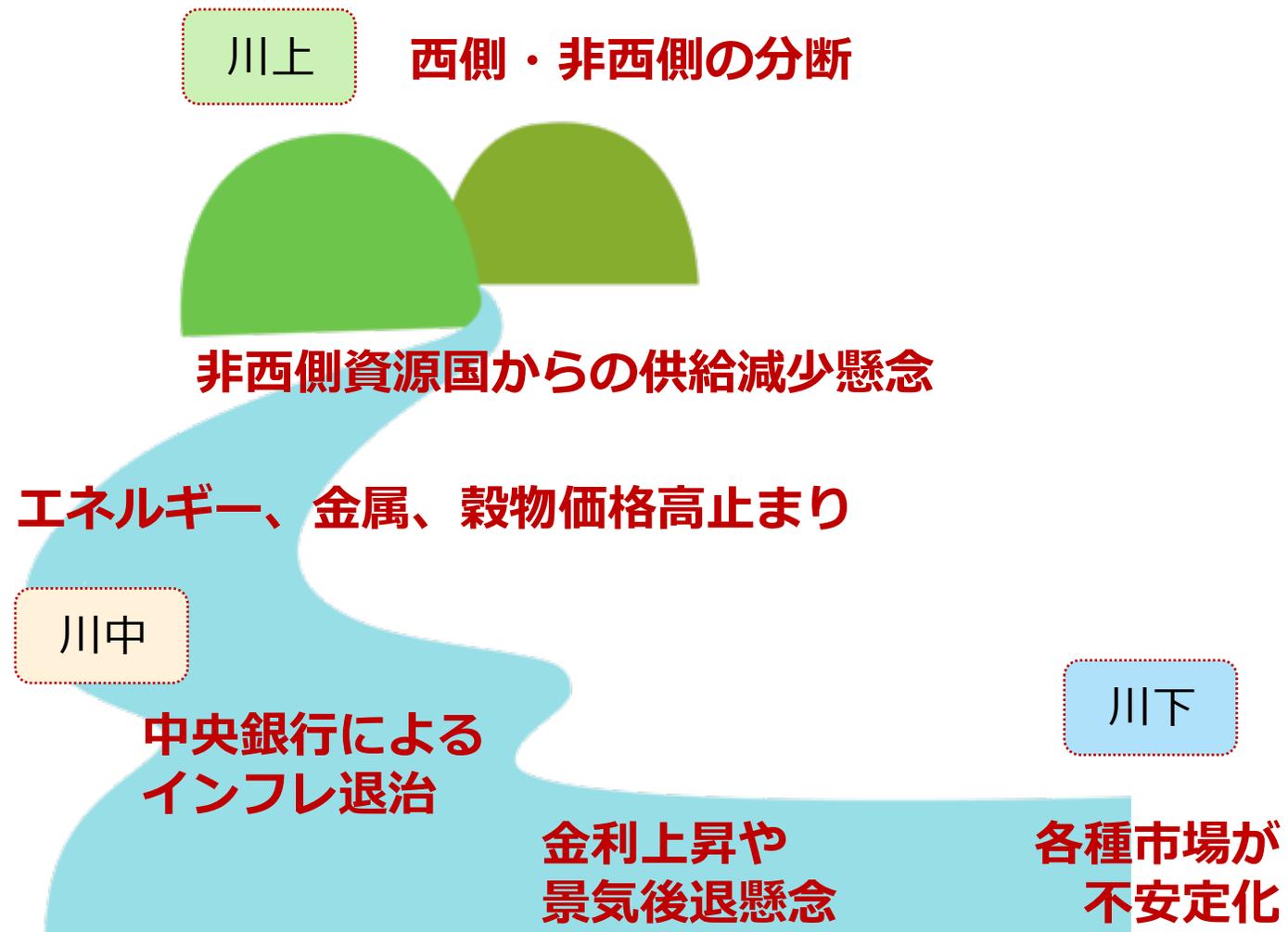
● イスラエル・ガザ戦争勃発後の価格推移（2023年10月6日を100として指数化）



出所：Investing.comのデータをもとに筆者作成

「金（ゴールド）高・原油高止まり」の背景に戦争勃発がある。

● 近年の世の中の全体像



出所：筆者作成、イラストはPIXTA

各種市場の混乱は、西側・非西側の分断が解消するまで続く。

● 国連安全保障理事会決議結果（2023年10月）

いずれも「停戦」
を目指す内容



ロシア案
10月16日

ハマスに対する
非難なし

ブラジル案
10月18日

イスラエルの
自衛権言及なし

米国案
10月25日

イスラエルの
自衛権言及あり

ロシア案
10月25日

イスラエルによる
ガザ南部への市民避難
命令即時解除

常任 理事国 (5カ国)	米国	反対	反対	賛成	反対
	英国	反対	棄権	賛成	反対
	フランス	反対	賛成	賛成	棄権
	ロシア	賛成	棄権	反対	賛成
	中国	賛成	賛成	反対	賛成

非常任 理事国 (10カ国)	賛成	3	10	7	2
	棄権	6	0	2	8
	反対	1	0	1	0

全て「否決」。安保理は戦争を終わらせることができない。

出所：国連の資料をもとに筆者作成

常任理事国が拒否権を発動すると、賛成多数でも何も決まらない。

パレスチナ占領地におけるイスラエルの違法行為について

ロシア、サウジ、トルコ、UAE、パレスチナ自治区など40カ国・地域が提出
(非西側多数)

1
件
目 カナダが文言追加「ハマスによるテロ攻撃と人質拘束を明確に拒否し非難」
を提案。(≡イスラエルを擁護)

賛成： 88 棄権： 23 反対： 55 未投票： 27

採択に必要な賛成・反対の合計数の3分の2以上に届かず

2
件
目 人道目的の即時停戦、ガザ地区に物資・サービスを提供、占領国である
イスラエルにパレスチナ市民にガザ南部に移るよう命じたことを撤回させる
などを要求。(≡イスラエルに不利)

賛成： 120 棄権： 45 反対： 14 未投票： 14

採択に必要な賛成・反対の合計数の3分の2以上に到達

どちらも賛成 (≡どちらの陣営にも属さず戦争の早期終結を望む国) は
35カ国にとどまった (193カ国中)。

出所：国連の資料をもとに筆者作成

「イスラエル擁護」陣営（米国、イスラエルなど）は、多数派ではない。

● 西側と非西側の分断深化が与える金（ゴールド）・原油相場への影響



出所：筆者作成

ショックを機に発生した「分断」は、大規模な危機勃発・価格変動の要因。